

事前体制の強化(災害対策本部設置)

■気象庁の台風情報に基づき、東北地方整備局災害対策本部(注意体制)を10月10日15:00に設置。

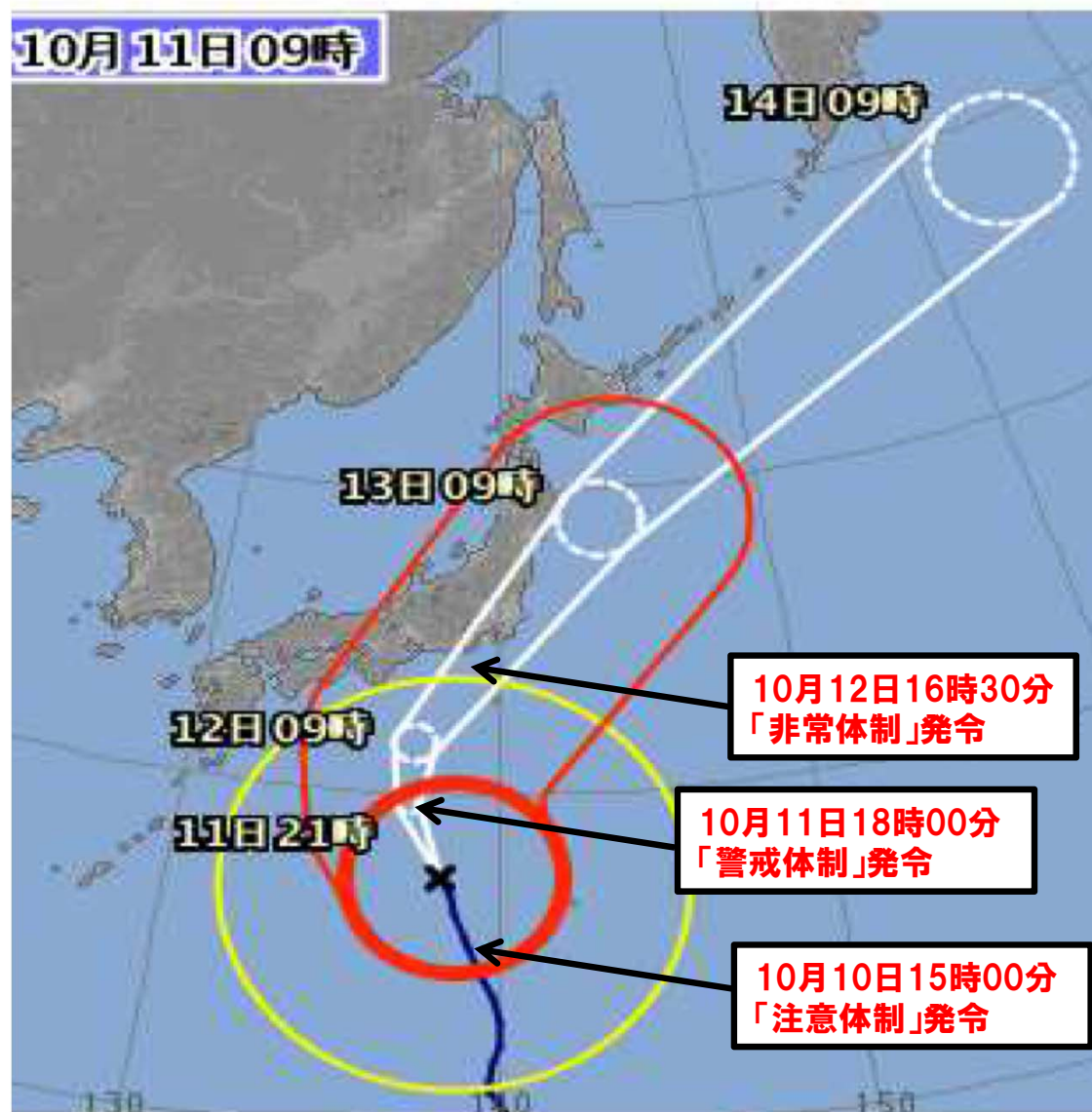
10月10日 15:00 注意体制
(台風接近に備え事前体制確保)



10月11日 18:00 警戒体制
(台風により大きな被害のおそれ)



10月12日 16:30 非常体制
(阿武隈川氾濫などにより甚大な被害の可能性が高まったため)



※気象庁HPに体制発令日時を追記

- 災害対策室と大会議室を開放し、他地整からのTEC-FORCE広域派遣の受入スペースや災害対応の機能を確保。
- 災害対応の情報共有を図るため、TV会議システムを活用した会議を開催。
(11/12現在:本省非常対策本部会議(18回)、東北整備局災害対策本部会議(27回))



赤羽国土交通大臣とのTV会議(10月13日11時頃)



東北地整第17回災害対策本部会議の状況(10月23日)



応援地整TEC司令部の状況(10月23日)



災害対策室の状況(10月18日)

「逃げ遅れゼロ」を目指した取組

気象台と東北地整の合同記者会見

- 台風19号の接近にあたり、10月11日に東北地方整備局と仙台管区気象台が合同で説明会を10月11日に開催し、在仙 5テレビ局全てが、ニュースで会見内容を放送し、迅速かつ広範囲の注意喚起を実施。
- また、台風上陸直前・上陸後の2回記者会見を行い、河川の現状と今後の注意点について解説し、継続して警戒を呼びかけ。



- ・第1回目 10月11日 11:00～
- ・第2回目 10月12日 21:30～
- ・第3回目 10月13日 2:00～



東北地方整備局と仙台管区気象台の合同説明会
(令和元年10月11日 NHK「てれまさむね」より)

「逃げ遅れゼロ」を目指した取組

国交省職員による専門家解説

- 最新の河川の状況について、生中継による解説を実施。
- 河川管理者の立場から、河川の映像や雨量レーダー等を用いて、現在の降雨状況や河川水位の状況、自治体の情報等に注意し早期の避難行動が必要である旨を解説。

テレビ局	報道回数
東北放送	4回
NHK	7回
ミヤギテレビ	2回

※インターネット中継含む

